

水道管工事業者の課題解決を考えるウェビナー

財団の事業と給水工事 技術向上への取り組み

令和3年11月10日

公益財団法人 給水工事技術振興財団
石飛博之

受験願書受付期間

令和3年5月24日(月)
～7月 2日(金)

消印有効

試験日

令和3年10月24日(日)

試験地区

北海道 東北 中部 四国 沖縄
北関東 東中国 北部

受験資格

給水装置工事に関して3年以上
の実務の経験を有する者

受験手数料

16,800円

詳しくは当財団の
ホームページをご覧ください。



給水装置

検索

<https://www.kyuukou.or.jp>

厚生労働大臣指定試験機関

公益財団法人 給水工事技術振興財団
〒163-0712

東京都新宿区西新宿二丁目7番1号
小田急第一生命ビル12階

TEL 03-6911-2711 FAX 03-6911-2716

給水装置工事 主任技術者試験

令和3年度

― 指定事業者登録・更新に必要な唯一の国家資格 ―

- 給水装置工事事業者が水道事業者から指定を受けるための必須の国家資格
- 受験資格は、給水装置工事に関して3年以上の実務経験を有する者
- 今年は、予定どおり10月24日に、全国8地区12会場で実施。
- 受験者数は、11,829名
- 合格発表は、11月30日

給水装置工事主任技術者試験会場



給水装置工事主任技術者試験の課題と対応

➤ できる限りの新型コロナ感染対策

- ✓ 受験者に対して、**体調管理**や受験日の**マスク着用**の徹底、**発熱・体調不良**の場合には受験を見合わせるなどと呼びかけ
- ✓ 試験会場では、受験者及び試験スタッフ全員の**検温**、手指の**アルコール消毒**、**ソーシャルディスタンス**を確保した座席配置及び窓・扉の開放による**換気**
- ✓ 試験会場に派遣する**財団職員**は、**ワクチン2回接種済み**。会場の要請があれば**事前にPCR検査で陰性を確認**

➤ 試験手続きのデジタル・オンライン化

- ✓ 受験申請⇒受験手数料振込⇒受験票交付⇒合格発表
- ✓ 将来は、免状交付、主任技術者証発行も

給水装置工事主任技術者研修会

1. 令和元年10月1日に改正水道法が施行⇒指定給水装置工事事業者の5年更新制度導入
2. 更新時に、給水装置工事主任技術者が、最新の技術や制度を習得するための研修へ参加しているかどうかを、水道事業者が指定工事業者に確認
3. 令和元年7月から給水装置工事主任技術者証の有効期間を5年に⇒技術者証の更新に際して、主任技術者に受講していただく全国統一的なeラーニング研修及び現地研修会を実施
4. 現地研修会受講者には、CPD(継続教育)単位付与

給水装置工事主任技術者研修会の課題と対応

1. 試験と同様にできる限りの新型コロナ対策を実施
2. 指定給水装置工事事業者の5年更新制度は、工事に必要な知識・技能を有する技術者の確保⇒現場での適切な工事施行⇒水道の基盤強化が目的
3. 事業者によっては、外部の研修を避けて手っ取り早い**自社内研修**で済ませる傾向⇒上記目的に合致するか懸念
4. 水道事業体は、工事業者指定更新に当たって主任技術者の受講状況をどこまで確認しているか？⇒日水協県支部長都市が、**県下の事業体の更新審査**（主任技術者の受講確認）**を一括して実施**する例も（事務の広域連携）

給水装置工事配管技能検定会

1. 配水管への取付口から水道メーターまでの工事を適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させること(水道法施行規則第36条第2号【事業の運営の基準】)⇒検定会合格者も該当
2. 給水装置工事事業者の指定更新時に、上記技能者を従事させているかも確認
3. 災害派遣時に、工法や材料の幅広い技能を有し、現場状況を直ちに判断し、施工できる実務的技能を養成⇒復旧活動の迅速化にも大きく寄与
4. 検定会受検者には、CPD(継続教育)単位付与

配管技能検定会 実技検定



給水装置工事配管技能検定会の課題と対応

1. 試験・研修会と同様にできる限りの新型コロナ対策を実施
 - 給水装置工事に関する知識を習得する座学は当面免除
2. 開催都道府県は約半数で固定化
 - 厚労省から配管技能に係る資格等を関連する規程等に明示する等の方策を推進するよう水道事業者等に要請
 - 主任技術者現地研修会を開催する時には、共催する全国管工事業協同組合連合会支部に新規に検定会を開催を働きかけ
3. 全国標準検定の見直し
 - 水道給水用ポリエチレン管(青ポリ給水管)の外径寸法がメーカー間で統一され、規格化の動き
 - 現行の全国標準検定の実技科目に青ポリ給水管の接合の追加を検討

給水装置工事のデジタル化

1. 背景

- DXの社会的要請（業務の効率化、正確化、省資源・・・）
- 水道事業でもスマートメーターなどのデジタル化が徐々に進展
- 給水装置工事にもデジタル化の導入による効率化・正確化が期待

2. 令和2～3年度調査（厚生労働省より受託）

- 水道事業体と管工事組合を対象（2年度：3地域、3年度：10地域）
- 給水装置工事の施工管理や各種手続、給水装置工事主任技術者免状・主任技術者証のデジタル化を推進するための実態調査

給水装置工事のデジタル化

一般的な給水装置工事業務フロー

水道利用者より工事受注

基本調査

施工情報システム

設計図作成

計画・設計

電子申請システム

申請

工事申請

施工情報システム

・施工チェックシート
・工事記録・写真

工事施行

自社検査

竣工図作成

施工情報システム

竣工図作成

竣工検査

電子申請システム

・竣工届
・検査のリモート化

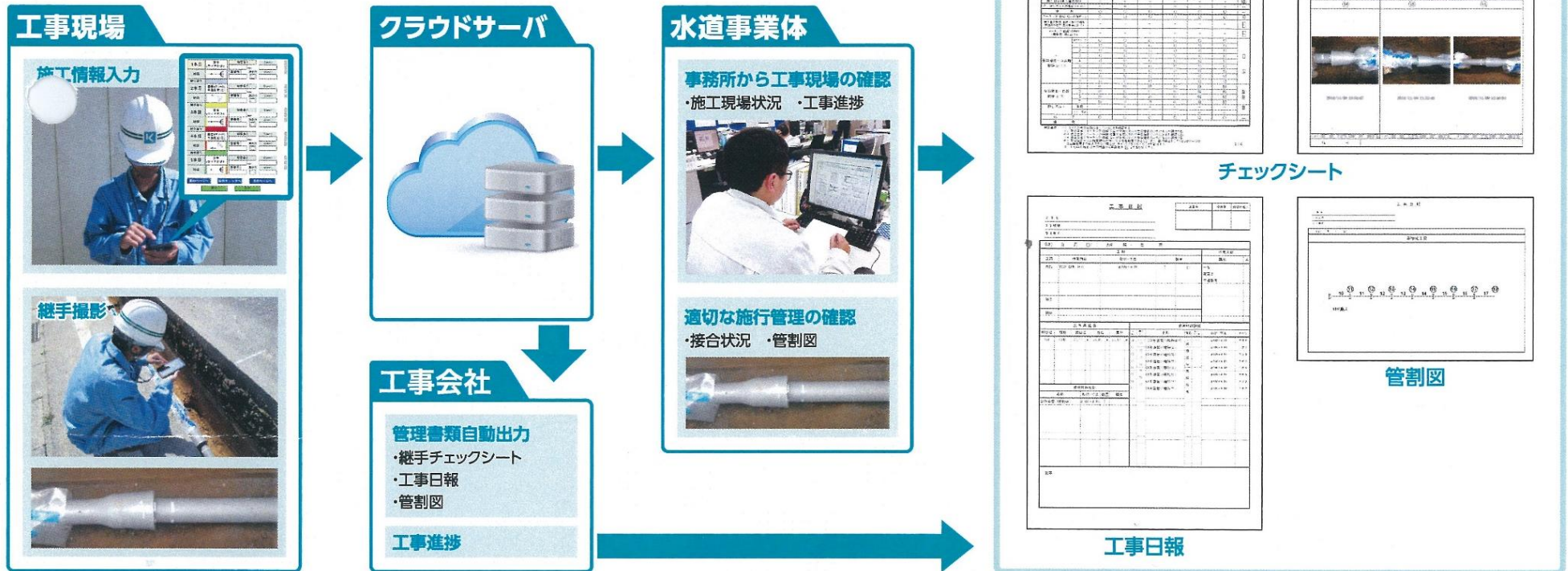
メーター設置

水道台帳・工事台帳へ反映

給水装置工事のデジタル化

施工情報システム

- ・工事現場で施工情報を入力するだけで、**施工管理書類を自動作成**。
- ・システムへの入力には**施工要領の手順に従うため、正確な手順で接合可能**。
- ・専用端末は不要で**スマートフォンで、操作が可能**。 ※対応機種はiPhoneのみとなります。



株式会社クボタ資料より引用

給水工事の人材育成、技術向上に向けて

1. 既存財団事業の継続的改善
2. 給水装置の強靱化・長寿命化
 - 耐震性・耐久性評価手法の標準化
3. 給水工事のスマート化・DX化
 - 資機材、工具等の省力化、コンパクト（軽量・小型）化
 - 給水工事・手続きの効率化・正確化
 - 給水工事の官民連携・広域連携のインセンティブ

若い世代にとって魅力ある職業・職場に
水道の基盤強化の一翼を担う

A scenic landscape featuring Mount Fuji in the background, its snow-capped peak rising above a layer of mist. In the foreground, the branches of a maple tree with bright red autumn leaves frame the top and sides of the image. The sky is a clear, pale blue. The Japanese text "ご清聴ありがとうございました" is centered in the middle of the image.

ご清聴ありがとうございました